

みんなが幸せな社会って？ 平和について考えよう

資源や領土、宗教や民族のちがいなど、
さまざまな理由で戦争はくり返されてきました。
平和な社会を実現するために、わたしたちにはなにができるのでしょうか。



東京大空襲で焼け野原になった東京下町
(1945年暮れ撮影)
提供：朝日新聞社



「学童集団疎開」を前に、
1944年（昭和19年）7月17日、
机やいすを汐留駅に運ぶ
東京・京橋第一国民学校の児童たち
提供：朝日新聞社

いまだから78年前東京は
焼け野原になった
みなさん、3月10日がなんの日か知っていますか。
いまだからおよそ80年前、日本は太平洋戦争とよばれる戦争を戦っていました。1945年3月10日、日本と対立するアメリカ軍は、飛行機で東京に大量の爆弾を落としました。深川や浅草などを中心に、まちは焼け野原となり、およそ10万人の人がなくなりました。この大規模な空襲は、東京大空襲とよばれています。



東京都墨田区の都立横網町公園にある平和祈念碑。
空襲の犠牲になった人を追悼し、平和を願うためにつくられた。
祈念碑の中には、空襲でなくなった人の名前を記した
名簿が大切に保管されている。

平和な社会のために
できることって？
日本は1945年8月15日に降伏を宣言し、それから戦争をすることなく、いまにいたっています。
世界ではいまも、命をうばい、うばわれる、ひさんな争いが各地でつづいています。みんなが幸せにくらせる、平和な社会を築くためにわたしたちができることはなんでしょう。
たとえば、歴史から学ぶこと。ほかの人の思いやる気持ちをもつこと。そこからはじめてみませんか。「自分さえよければいい。」と考えていると、ほかの人の幸せを壊してしまうかもしれません。だれかが苦しんでいても、関係ないと無視してしまうかもしれません。自分だけでなく、みんなが幸せになれるよう行動する人が増えれば、少しずつ平和な世界に近づけるのではないのでしょうか。
戦争を二度とくり返さないよう、東京都は3月10日を「東京都市平和の日」と定めました。犠牲者を追悼するため黙とうがおこなわれるほか、戦時中の東京のようすを伝える行事が開かれます。みなさんも近くの行事に足を運び、平和な社会のために自分になにができるのか、考えてみてください。

平和についてより深く考えるためには
広報東京都こども版
WEBサイトを見てね！
もっとくわしく調べてみよう！
広報東京都こども版
<https://www.kodomokoho.metro.tokyo.lg.jp/>



このQRコードはアクセス解析のためにCookieを使用しています。アクセス解析は匿名で収集されており、個人を特定するものではありません。この機能はCookieを無効にすることで収集を拒否することができますので、お使いのデバイスのブラウザの設定をご確認ください。

広報
東京都
こども版

今月のテーマ
平和の日

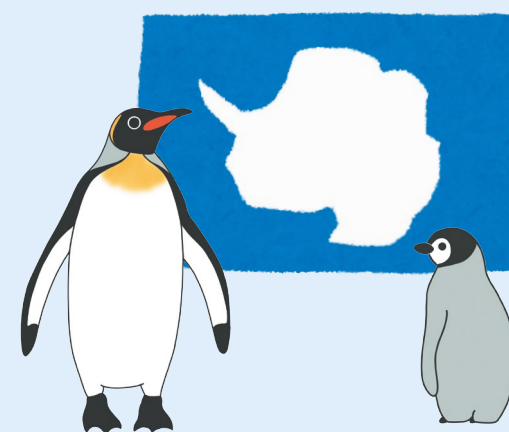
2023年（令和5年）2月

東京都政策企画局 戦略広報部広報広聴課
お問い合わせ TEL:03-5388-3093

TOKYO
もののクイズ

南極大陸は
どこの国のもの？

- ① ノルウェー
- ② アルゼンチン
- ③ どこの国のものでもない



答えは「広報東京都こども版」
WEBサイトでチェック！

